

### 3章 総合問題3

#### 問題

#### 【1】

#### 解答例

考古学者たちは従来、農耕は人口の増加によって豊かな土地を追われた人間がそうせざるを得なくなって始めたと考えていたが、近年、それが否定され、食糧の獲得を多量かつ確実にしようと考えた人間の研究の結果によるもので、人間の創造力の賜物であろうと考えている。〔124字〕

#### 解説

第1段落：従来の通説

「農耕は人口の増加によって豊かな土地を追われた人間がそうせざるを得なくなって始めた。」(41字)

第2段落：従来の通説の詳細

- ①「偶然に発芽を観察して栽培を思い立った。」(19字)
- ②「その結果、定住生活が始まった。」(15字)

第3段落：近年の新説

「農業は食糧の獲得を多量かつ確実にしようと考えた人間の研究の結果によるもので、必要に迫られてのものではなく、人間の創造力の賜物であろう。」(67字)

指針

第2段落は第1段落に収斂され得るので、第2段落を省略して制限字数に合わせる。

#### 全訳

数年前まで、考古学者たちの間における通説は、初期の人類は必要に迫られて農耕を実践し始めたというものであった。専門家たちが主張したのは、人口の増大によって人々はその集団の一部の人々を、狩猟によっても採集によっても食物を周囲の自然から大量に獲得しやすい土地から追い出すことを余儀なくされたということであった。

その旧来の考え方によれば、豊かな土地の周縁部の比較的貧しい土地で生活しながら、その地域の人々は採集された野生の植物の種子が、投げ棄てられたり偶然に落ちた場所からたびたび芽が生え始めるということに気が付いた。そして、彼らは、作物をこのような貧しい土地に意図的に植えれば、狩猟や食用可能な野生の植物の採集よりも豊富で確実な食糧源を与えてくれるということに気が付いた。結果として、その伝統的な考え方によれば、貧しい土地の一時的な野営地が恒久的な居住地へと発達した、ということである。しかしながら、最近の調査は、農耕は必ずしもそのように生じたわけではないと説いている。

考古学者たちは今では、農業は単なる偶然によって始まったのではなかったのだらうと考えている。そうではなくて、それは初期の人類がある科学的な研究を行ったことによって始まったのであろうということである。彼らが説くには、古代の人々は野生の食物が容易に手に入らない凶年を時に経験し、常に十分な食物を得られる方法を探し求めるべきであると思

い立ったということである。このために彼らは特定の野生の植物を用いて実験を行い、最終的に最適と思われる種類の植物を栽培しようと決定した。考古学者たちは今では、必要は必ずしも農業の発明の母ではないと言っている。そうではなくて人間の創造的な能力こそ、農業の発明の母であると述べているのだ。

**注**

- ℓ. 1 ◇ archaeologist 「考古学者」 < archaeology 「考古学」
- ℓ. 2 ◇ claim = assert in the face of possible contradiction; maintain
- ℓ. 5 ◇ edge = a boundary; a margin
- ℓ. 10 ◇ temporary = lasting only for a limited time
  - ◇ settlement = a small village
  - < settle = start to live in a place
- ℓ. 11 ◇ it = farming
  - ◇ not ~ quite : 部分否定。
  - ◇ that way : 副詞相当句
- ℓ. 14 ◇ occasional = happening from time to time; not regular
- ℓ. 16 ◇ eventually = at last; in the end
  - ◇ choose to ... = decide to ...
- ℓ. 18 ◇ human creative ability was (the invention of agriculture).

**【2】**

**解答**

- (1) **工**      (2) **㉔**  
(3) 不要となる段落 **b**    1番目にくる段落 **c**    2番目にくる段落 **e**    (4) **b**

**解説**

1) 主題をつかむ

この文章は9つの段落からできている。第1段落の導入の文は、どの世代もその次の世代が礼儀作法を欠いていると考えている、という一般的な見解を述べている。しかし、第2文では対照を示すトランジション・マーカー（つなぎ言葉）の however を用い、この見解に反駁している。

そして、15世紀から16世紀当時の礼儀作法に関する実際の批評を引用する形で、証拠が提示されている。そこから、当時の礼儀作法のレベルは、今日の視点から見ると考えられないものであったことが読み取れる。エチケットの基準はたえず変化しているという主題は、Standards of etiquette で始まる第2段落の最後の文に見られ、そこでも however という語がマーカーとして使われている。

2) ディスコース・マーカーと指示（語）の役割を理解する

設問(1)は、第1段落から第3段落の空所のどこかに1文を挿入する問題である。その一文は文章全体の主題を表す文ではないが、etiquette（礼儀作法）という語の起源を述べた第3段落の要点である。挿入すべき文の最初にある From this の this は、ルイ14世の宮廷を訪れる人たちに渡された、立ち振る舞いに関する決まり事の一覧表を指している。したがっ

て、正解は**工**である。

### 3) 趣旨から外れない

設問(2)は文脈に合わない文を見分ける問題。正解は**㉔**である。この文は誇張した説明であり、正しくない。礼儀作法に対する関心は保守的な意図や影響を持つが、筆者は社会の流動性が抑止されたとは述べていない。この文章が全体として重点を置いて述べているのは、変化についてである。

### 4) 一貫性を認識する

設問(3)は、欠けている4つの段落を正しい順序に並べ、1番目と2番目にくる段落、そして、5つの選択肢のうち不要な段落を答える問題である。

恣意的に並べられた5つの段落同士を比べ、空欄の前の文章とのつながりも考えなければならない。ここでは、first, second, thirdのように便利なディスコース・マーカーはない。通常どおり、単語同士の関係と指示語のほうが重要である。

選択肢として並んでいる段落は、習慣にはなっているが世代とともに変化してきた礼儀作法に関する問題のいくつかを論じている。そこには、あいさつや食事の習慣にまつわるものが含まれる。

最初にくる段落は**c**で、遠い昔までたどれる握手の起源を紹介している。

2番目の段落もまた、ある習慣の起源を昔にたどっている。前の段落とつなぐ役割をしている言葉は、**e**の冒頭のLikewiseである。もともと、これらの習慣は、文章の主題から見て、関連があった。つまり、両方とも騎士同士の間で信用と善意を示すものだったのである。

3番目にくる段落は**a**である。話題は食事の習慣に移行し、テーブルで食べ物と飲み物を分けあっていたことがまず述べられている。フォークに関する話は最後の文まで出てこない。

4番目の段落**d**はフォークの話題を取り上げ、それを展開して、アメリカではかなりあとになってフォークが使われるようになったことを述べている。次に続く英文との主要な結びつきは指示語に見られる。段落**d**の最初の文にあるTheyはforksを指している。フォークと、スプーンやナイフなど食事を使うその他の道具には何回か触れられており、語彙のつながりが参照機能的な代名詞theyと組み合わせさせて、一貫性を作り出している。

**b**の段落に書かれている礼儀作法の文化的相対性は事実だが、この文章にはそぐわない。

### 5) 主題を要約する

設問(4)は文章全体の主題を選ぶ問題である。

**a** 礼儀作法は悪くなっている。

筆者の主張に反する。

**b** 礼儀作法の受け入れられ方はいつも変化している。

**c** 社会の特定の階級では礼儀作法はより重きを置かれている。

これは事実かもしれないが、この文章の主題ではない。

**d** 15世紀や16世紀の貴族に比べて、現代の礼儀作法はひどいものである。

第1段落に挙げられている例からわかるように、これはまったく正しくない。

少なくとも 1920 年代までさかのぼり、今日まで引き続いて、各世代はその後の世代を、礼儀作法の低下を容認してきたとして非難してきた。だが、これは必ずしも本当ではない。15 世紀および 16 世紀の間、洗練された貴族のための礼儀作法に関する評言は、今日ではあまりにも粗野かつ過剰であり、言うまでもないと思えるような事柄に言及している。

肉をつかむのに使うのと同じ手で鼻をかむべからず。

食事の時に咳払いしたり、テーブル・クロスで鼻をかんだりする輩は、共に育ちが悪いこと請け合いなり。

テーブルに唾を吐くべからず。

しかしながら、エチケットに関する基準は、今日でも変化し続けているように、時と共に変化してきた。

「エチケット」という言葉自体、その変化を反映している。「エチケット」というのは、元々ラベルないしはチケットを意味するフランス語である。後に、その語は、ルイ 14 世の宮廷を訪れる人に与えられた適切な振る舞いの規則の印刷された一覧表のことを指すようになった。Ⅰ ここから、その語はよい礼儀作法を意味するようになり、それが、その語が英語に採り入れられた際に有していた意味なのである。

ヨーロッパでは、エチケットの基準についての関心が増大し、フランスの宮廷からヨーロッパの貴族社会を通じて広まり、それから 17 世紀および 18 世紀の間に、社会の上流階級を通じて次第に下流階級の方へも広まっていった。アメリカでは、せわしなく高度に流動的で急速に都市化・工業化しつつある民主社会において、いかに秩序と権威を確立するか、というより大きな問題の中で、エチケットについての関心が 19 世紀に高まった。礼儀作法を事細かに定義することは、特権階級の人々にとって、台頭する中流階級に対抗する防衛線となった。他方、それは、より高い社会的地位に憧れる多くの人々にとって、より高い社会的地位への架け橋ともなった。

c 今日でも用いられているエチケットの多くの形が、大昔に始まったものだ。握手は、武器を持つ手である右手を、平和的な意志表示として何も持たずに差し出すという習慣に由来する。握手は、両手を使った握手や、特定の機関で用いられる複雑で秘密の握手を含めて、多くの形がある。握手は、アメリカでとりわけ一般的な挨拶の形となったが、エチケットに関して助言する立場にあった人たちは、当初握手のことをしばしば不快だと感じた。「人に対する敬意は大いに持とう。」エチケットに関して助言する立場にあった人たちの 1 人が 1855 年に記している。「だが、その人に触れたいとは思えない。してみると、至る所で行なわれている握手とは、何と野蛮な行為で、かつ何とまったく無意味となってしまったことか！」

e 同様に、男性が帽子を上げたり取ったりする習慣は、少なくとも中世にさかのぼる。中世の騎士は、他の騎士に会った時にはかぶとの<sup>めんぼう</sup>面頬を上げたものであり、味方といる時に

は、一緒にいて身の安全を感じていることを示すためにかぶとを完全に脱いだものだった。1950年代までは、男性が、女性や判事ないしは医者といった特別な敬意に値する人のいる所で、帽子を脱がない、あるいは少なくとも上げたり軽く触れたりもしないならば、失礼であると考えられていた。19世紀のエチケツト教本は、男性が帽子に軽く触れる際の礼儀作法に関して非常にうるさかった。帽子を上げる習慣がアメリカの日常的光景から実質上消え失せてしまったのは、アメリカ人男性が礼儀作法を忘れたからではなく、帽子を被らない主義のジョン・F・ケネディの影響も一部にはあって、帽子そのものが1960年代に廃れてしまったからである。彼は、帽子を被らないのみならずコートも着ないで大統領選挙戦を戦い抜いたのだ。

a テーブル上の礼儀作法も、古代以来大きく変わった。ローマ人は、共用の料理を分かち合い、指で食べた。共用のカップは、中世を通じて使われた。テーブルには置かれず、手から手へと渡されたため、丸い形をしたり尖った底に作られたものも中にはあった。フォークは、17世紀末までヨーロッパで普及しなかった。

d フォークは、アメリカではさらに後まで普及しないままだった。フォークの出現以前、アメリカ人は、スプーンや指、それにナイフで何とかやっていた。伝統的な二股の変種であるフォークが遂に現れた時、アメリカ人は肉を切るのに押さえるために左手に持って使ったもので、食べ物はナイフで口に運んでいた。この習慣が19世紀の上品な礼儀作法に向けての動きの中で批判されるようになるにつれ、フォークを左手にナイフを右手に持って肉を切り、それから食べ物を口に運ぶためにフォークを右手に持ち替えるという現在の作法に、アメリカ人は切り替えた。

20世紀後半に、流れは礼儀作法の緩和へと移行していった。アメリカ人、特にカリフォルニアのアメリカ人は、仕事という状況においてさえ、ファースト・ネームやニック・ネームを使うことをしばしば主張する。しかしながら、テーブルに唾を吐くのは依然としてタブーであるから、社会全体の墮落を危惧する人たちは、早々と気を揉んでいる。エチケツトの形態は変わるが、よい礼儀作法の基本は、多かれ少なかれ普遍的である。他人には配慮を示し、その感情と秩序の感覚を尊重し、全般的に親切に振る舞うのだ。それで、大抵の場合十分通用するであろう。

<不要な一文>

◎このように社会の流動性は本質的には抑止されていた。

<不要な選択肢>

b 海外旅行者はしばしば他国の礼儀作法の標準が奇妙、あるいは、不快であるとさえ感じる。そしてまた、自分たちが慣れ親しんでいる行動が滞在国では笑いや不快さの対象になるかもしれないとわかると、しばしば驚きもする。

### 【3】

**解答**

「全訳」下線部参照。

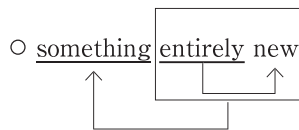
**全訳**

現代のコンピューターの最も困ることの一つは、コンピューターはすべての命令に機械的

に従ってしまうということである。こちらが意図しようとしまいと、コンピューターはするように命令されたことをしてしまうのだ。さらに、コンピューターは自分でスイッチを入れることもできなければ、また、まったく新しいことを自ら始めることも決してできないのである。

**注**.....

- ℓ. 1 ◇ problem = something that causes perplexity or worry  
◇ follow = act in accordance with; obey; take or accept, as a guide  
◇ command = order; instruction
- ℓ. 2 ◇ mechanically < mechanical = acting or done as if without thought  
cf. automatically < automatic = that is done without thinking  
◇ do what they are told to do  
○直前の they follow all commands mechanically の内容を受けているのを踏まえて訳出する。  
◇ whether we meant it or not  
○この部分がなくても文は成立するので副詞節。したがって、'譲歩' と考える。  
○ it = what they are told to do
- ℓ. 3 ◇ moreover, = in addition,  
< 「追加」を表す表現に関する注意 >  
besides を副詞で用いると、 moreover ; in addition では意味がまったく異なるというのが2人の米国人インフォーマントのコメントである。例えば、以下の例では、besides, の代わりに、 moreover, や in addition, を用いることは絶対にできない。Besides, は、'追加' に '譲歩' の意味合いを含み「もし、今言ったことが受け入れられないとしても、次に言うことは受け入れられるはず」という内容を表す。moreover, や in addition, にはこの用法はない。  
cf. A : Let's go to Hawaii for a few days. (数日間ハワイに行きましょう。)  
B : I could never take the time off. Besides, we can't afford it.  
(休みを取ることはできないだろうし、とにかく、お金の余裕がないよ。)  
この Besides, の同義語は Anyway, である。
- ◇ they cannot turn themselves on  
○ they = computers  
○ themselves < they  
○ turn on = switch on  
○ on は副詞。  
○主語と目的語が同一物の場合、目的語は oneself の形になるのが原則。  
◇ nor can they ever begin something entirely new on their own  
○ nor = and ~ not ..., either  
○ ever = at any time



- on *one's* own = independently; without help
- 「否定の副詞が文頭に出て、その作用域が文全体に渡る場合、強制的に疑問文の語順になる」というルールより、倒置がおきている。頻出
- ≡ and they cannot ever begin entirely new on their own, either

#### 【4】

##### 解答・解説

- (1) 実際の人生やあらゆる人間と同様に、お伽話にも善と悪とが常に同時に存在すること。  
[39字]
- (2) this : 悪徳を行う者が物語の最後で罰せられること。  
it : 道徳教育における1つの経験。
- (3) 「全訳」下線部参照。

㉔

She is *a most* beautiful woman. (とても美しい女性だ。)

She is *the most* beautiful woman. (最も美しい女性だ。)

「a most ~ 名詞」 = 「とても~な名詞」 / 「the most ~ 名詞」 = 「最も~な名詞」であるが、本問のような最上級の形容詞のみが補語の時の *the* は義務的ではないので、ここは、*the most attractive* (最も魅力的な) と同じと考えてもよい。

*cf.* It was outside, in the street, that it was *most thrilling*.

(最もわくわくしたのは屋外、つまり、街の光景であった。)

But it was *hardest* of all to be parted from the girl he loved with all the passionate young heart.

(しかし、彼がその情熱的な若い心を傾けて愛している少女と別れることは何にもまして一番辛いことだった。)

よって、本問の *most attractive* は、

- ① extremely attractive    ② the most attractive のいずれにもとれる。

- (4) as

○ *ℓ. 2* In practically every fairy tale good and evil are given body in the form of some figures and their actions, (**as**) good and evil are omnipresent in life and the propensities for both are present in every man. 《様態》

○ *ℓ. 8* In many fairy tales a usurper succeeds for a time in seizing the place which rightfully belongs to the hero — (**as**) the wicked sisters do in “Cinderella.” 《様態》

○ *ℓ. 17* triumphs with him (**as**) virtue is victorious 《時》

※ is victorious の *is* は動作動詞で、is victorious で「勝利する」の意味。

- ㉔. 20 *not* good and bad at the same time, (**as**) we all are in reality 《様態》  
 ※ *not* の射程が文末までなので、この **as** は「～のように」「～とは違って」と訳出する。
- ㉔. 24 The juxtaposition of opposite characters is *not* for the purpose of stressing right behavior, (**as**) would be true for cautionary tales. 《様態》  
 ※ 訳出の方法は㉔. 20 の **as** と同じ。

**全訳** .....

多くの現代の子供向けの物語において起こっていることは正反対に、お伽話においては悪は善と同じくらいよく登場する。善と悪とが常に人生の中に存在し、どちらの性向もあらゆる人間の中に存在するように、ほとんどすべてのお伽話において、善と悪とは登場人物たちや彼らの行為の中に具現化されている。道徳に関わる問題を提起し、それを解決する努力を要求するのがこの二元性である。

悪そのものに魅力がないわけではない。それは力強い巨人や竜、魔法の能力、『白雪姫』の中のずる賢い女王によって象徴されていて、しばしば一時的ながらも善の優位に立つ。多くのお伽話において略奪者は、本来は主人公に属するのが正当である地位を一時的にも獲得することに成功する——『シンデレラ』の中で意地悪な姉妹たちがそうするように。悪徳を行う者が物語の最後で罰せられるという事実が、お伽話に夢中になることを道徳教育の体験たらしめているのではない。もっともこのこともその一部ではあるけれども。お伽話においても人生においてと同様に、刑罰や刑罰に対する恐怖心というものは犯罪に対する限られた抑止力でしかない。犯罪は割に合わないという信念の方がずっと効果的な抑止力となる。そういうわけで、お伽話においては悪者が常に損をする。③道徳心を養うのは善が最後に勝つという事実ではなく、主人公が子供にとって最も（とても）魅力的な存在で、子供は主人公が闘うあらゆる場面で彼に感情移入するという事実にある。この感情移入のために、子供は自分が主人公と共にその苦難と辛苦とを経験するところを想像し、善が勝った暁には主人公と共に凱歌を上げる。子供はこのような感情移入をすべて自分1人で行い、主人公の内面及び外面の闘いが子供に道徳心を植えつける。

お伽話の中の登場人物たちは相反する性質を持った存在ではない——現実のすべての人間とは違って、同時に善でもあり悪でもあるということはない。しかし相反する要素が子供の頭の中を占めているので、そうした相反する要素がお伽話の中をも占めることになる。登場人物は善か悪かのいずれか一方であり、その中間ではない。兄弟の一方は間拔けで、他方は賢い。姉妹の一人は高潔で勤勉だが、残りは下劣で怠け者である。一人は美点にあふれ、残りは醜悪である。両親の一方は善良そのもので、他方は邪悪である。教訓的な物語であれば当てはまるだろうが、それとは違って相反する性質を持つ登場人物が隣り合って置かれるのは正しい行いを強調するためではない。④相反する性質を持つ登場人物を示すことによって、子供はたやすくその両者の違いを理解することができるようになる。もし登場人物たちが実存する人間を特徴づける複雑さをすべて兼ね備えて、より本物そっくりに描かれるならば、子供はそれほど容易に両者の違いを理解することはできないだろう。

**注** .....

- ㉔. 2 ◇ omnipresent 「同時にどこにでもいる；遍在する」
- ◇ practically = almost; virtually; substantially



- every を修飾。
- ℓ. 3 ◇ figure = a person
- ℓ. 4 ◇ propensity: tendency 「性癖；傾向」
  - ◇ it ~ which … : 強調構文。
  - ◇ duality 「二元性」 < dual = double
  - ◇ pose [póuz] = present
    - < pause[pó:z] = stop
- ℓ. 6 ◇ mighty = powerful; strong
  - < might = great strength or power
- ℓ. 7 ◇ witch 「魔女」 ⇔ wizard 「魔法使い (男)」
  - ◇ cunning = clever at deceiving people
    - cf. cheating 「カンニング」
  - ◇ temporarily = in a temporary way
    - < temporary = lasting only for a limited period
- ℓ. 8 ◇ ascendancy = superior position
  - < ascend = go or come up ⇔ descend = come or go down
  - ◇ usurper < usurp = take (someone's position) wrongfully
  - ◇ succeed in …ing = make good in …ing
  - ◇ for a time = for some time (しばらくの間)
  - ◇ seize = take hold of; possess; grasp
- ℓ. 9 ◇ wicked = morally bad; evil; sinful < wizard
  - ◇ Cinderella 「シンデレラ」
  - ◇ it … which … : 強調構文。
- ℓ. 10 ◇ evildoer = a person who commits evil deeds
  - ◇ make O C 「O を C にする」
    - O = immersing oneself in fairy stories    C = an experience in ~
  - ◇ immerse oneself in ~ 「～に没頭する；ふける」
- ℓ. 12 ◇ fear of it = be fearful of it; be afraid of it
  - it = punishment
  - ◇ deterrent [ditɔ:ɾənt] 「抑止力」 cf. the nuclear *deterrent* (核抑止力)
    - < deter [ditɔ:ɾ] = discourage or prevent (through fear)
  - ◇ conviction < convince = cause to believe firmly in the truth of something
- ℓ. 13 ◇ pay = be profitable
- ℓ. 14 ◇ lose out = fail; be defeated
  - ◇ it … which … : 強調構文。
  - ◇ win out = achieve success eventually
  - ◇ promote = help something to happen or develop
- ℓ. 15 ◇ identify with = regard *oneself* as sharing characteristics of (someone)
- ℓ. 16 ◇ suffer (with the hero) his trials and tribulations

- trial = a trying thing or experience  
cf. trying = annoying
- tribulation 「辛苦」
- ℓ. 17 ◇ triumph = gain victory; be successful
- ℓ. 18 ◇ on *one's* own = alone
- ℓ. 19 ◇ imprint A on B = press A on B
- ℓ. 20 ◇ ambivalent = having opposite feelings toward a person or thing
- ℓ. 21 ◇ as we all are (good and bad at the same time) in reality  
◇ polarization 「極性を生ずること；正反対になること」
- ℓ. 22 ◇ in between = between  
◇ one ~ the other … : 2要素の存在
- ℓ. 23 ◇ one ~ the others … 「一人は~, 残り全員は…」  
◇ virtuous = having or showing high moral standards  
< virtue  
◇ industrious [indástriəs] = diligent  
◇ vile = shameful and evil; very bad
- ℓ. 24 ◇ the other (is) evil
- ℓ. 25 ◇ juxtaposition 「並列」  
◇ character = ① characteristics ② *person (in a novel)*  
◇ not は placed ~ for the purpose of ~ behavior を否定。
- ℓ. 26 ◇ would : 仮定法。  
○ 「教訓的な物語であったなら~」が条件。  
◇ cautionary [kǎ:ʃənəri] < caution = warning
- ℓ. 27 ◇ comprehend = understand; grasp mentally  
◇ could : 仮定法。以下の were … が条件の意を表す。
- ℓ. 28 ◇ readily = easily; without difficulty  
◇ were the figures drawn … = if the figures were drawn …  
○ 仮定法。if の省略による倒置 (= Inversion)。  
◇ true to life = realistic (準補語)  
◇ with = having  
◇ all 「すべての」  
※いわゆる成句 with all (~にも関わらず) の all ではない点に注意。
- ℓ. 29 ◇ characterize ~ 「~を特徴づける」

## 【5】

### 解答

- (1) d      (2) b      (3) a      (4) 757-1990  
(5) B      (6) c      (7) 879-0050

Message 1

Hi, Karen, this is Jill. Listen, Mom called me on the phone this afternoon and she was kind of complaining that she never sees you anymore. I know you're busy at work, but do you think we could get together with Mom on Sunday? I have three tickets to an exhibition at the Boston Museum of Art. We could spend a couple of hours there and then have  
5 dinner. What do you think? Please let me know if you can make it by Thursday evening. Otherwise, I should invite someone else. But I'm sure Mom would be very happy if you came along.

Message 2

Hello, this is Douglas Fairfield of Citibank calling for Ms. Karen Black. We have looked over your résumé and would like to have you come in for an interview. The interviews are not being held at the bank, but at another office. It's room 1770 on the 17th floor of the Prudential Building.  
5 Could you be there at 10:00 A.M. on Monday, June 21? If this time is impossible for you, please call me at 757-1990. However, we will not be holding interviews any later than Tuesday, so I hope you can come at the suggested time.

Message 3

Hi, Karen, it's Bill. I have to work overtime today, so I won't have time to come home before going to the restaurant. I made a reservation at Kelly's Seafood Restaurant from 7:30. The food is supposed to be good and it has a nice view of the bay.

When you go out the west exit of South Bay Station, you'll see a street leading directly  
5 away from the station toward the bay. Go straight up that street. You'll see a pizza shop on your left. Then the street curves to the right. Keep following it until you see a convenience store on your right. It's on the corner of a narrow street. Directly opposite the store you'll see a short dead-end street. You'll find Kelly's on your left at the end of the

street.

#### Message 4

Karen, it's Bill again. I forgot to mention something about the baby sitter. If you haven't managed to find anyone to look after the kids tonight, give me a call at the office right away. I happened to run into my sister when I went out for lunch today, and she said that she could help us out if we were in a pinch. Actually, it would be best if you called her directly. You can reach her at 879-0050 until around five, and at 882-8346 after five-thirty. She said she didn't mind cooking something, but I told her that the kids would be just as happy with some Chinese takeout. Could you leave her some money for that? Anyway, see you at seven-thirty.

#### 全訳

##### Message 1

こんにちは、カレン。ジルよ。聞いてちょうだい、ママが今日の午後電話をかけてきて、あなたに全然会っていないってこぼしていたの。仕事が忙しいのはわかっているんだけど、日曜日に一緒にママと会えないかな？ ボストン美術館の展覧会のチケットが3枚あるの。そこで2,3時間過ごして、それから夕食でもと思ったんだけど、どう？ もし都合がつきそうなら、木曜の夜までに知らせてくれる？ 駄目なら他の誰かを誘おうと思うから。でも、あなたが来てくれたら、ママはすごく喜ぶと思うわ。

##### Message 2

もしもし、こちらはシティバンクのダグラス・フェアフィールドです。カレン・ブラックさんにおかけしています。あなたの履歴書を拝見して、面接においで頂きたいと思います。面接は銀行ではなく、別のオフィスで行います。プルデンシャルビル 17 階の 1770 号室です。

6月21日月曜日の午前10時にお越し頂けますか？ この時間でご都合が悪いようでしたら、757-1990番までお電話下さい。ただし、火曜日以降には面接を予定しておりませんので、提示した日時にいらして頂ければと思います。

##### Message 3

やあ、カレン。ビルだよ。今日は残業しなきゃいけないから、レストランに行く前に家に戻る時間がないんだ。Kelly's Seafood Restaurantに7時30分から予約しておいたよ。その料理はおいしいって評判だし、湾の眺めがいいんだよ。

South Bay 駅の西口を出たら、駅から湾に直接向かう道があるんだ。その道をまっすぐ行くと、左側にピザ屋があって、それから道が右にカーブしているんだ。右側にコンビニエンスストアが見えるまで、その道をまっすぐ行ってね。そのコンビニエンスストアは狭い通りの角にあって、その店のちょうど反対側に短い行き止まりの道があるんだ。Kelly'sはその

道の突き当たりの左側にあるよ。

#### Message 4

カレン，またビルだよ。ベビーシッターについて言うのを忘れてしまったよ。もし，今夜子供たちの面倒をみてくれる人がまだ見つかっていないのなら，すぐに会社に電話をくれな  
いか。今日昼食を食べに出た時，偶然姉に会って，もし必要なら手を貸すって言うていたん  
だ。君が直接彼女に電話してくれると一番いいんだけど。5時頃までは879-0050で，5  
時半以降は882-8346にかければ彼女と連絡がとれるよ。何か料理してあげても構わないっ  
て言うていたけれど，子供たちは何か中華のテイクアウトを買ってきて喜ぶんじゃない  
かって言うておいた。そのお金を置いていってもらえるかな？とにかく，7時半に会おう。

#### **注**

#### Message 1

- ℓ. 2 ◇ kind of = rather 「ちょっと」
- ℓ. 3 ◇ get together 「会う」
- ℓ. 4 ◇ a couple of ～ 「2, 3の (= a few)」
- ℓ. 5 ◇ if you can make it 「都合がつけば；もし来られれば」
- ℓ. 7 ◇ come along 「(一緒に) 来る」

#### Message 2

- ℓ. 1 ◇ look over ～ 「(書類など) に目を通す」
- ℓ. 2 ◇ résumé 「履歴書」  
◇ interview 「面接」
- ℓ. 6 ◇ not ～ any later than … 「…より遅くは～ない」
- ℓ. 7 ◇ the suggested time 「提示した時間」

#### Message 3

- ℓ. 1 ◇ work overtime 「残業する」
- ℓ. 3 ◇ be supposed to be … 「…であると思われる；…ということになっている」
- ℓ. 4 ◇ a street leading away from ～ toward … 「～から…に向かう道」
- ℓ. 6 ◇ curve to the right 「右の方に曲がる」
- ℓ. 7 ◇ on the corner of ～ 「～の角のところ」  
◇ directly opposite ～ 「～のちょうど正面に」
- ℓ. 8 ◇ dead-end 「行き止まり」

#### Message 4

- ℓ. 2 ◇ manage to … 「何とか(うまく)…する」  
◇ give ～ a call 「～に電話する」
- ℓ. 3 ◇ right away 「すぐに」  
◇ run into ～ 「～に(偶然) 出会う」
- ℓ. 4 ◇ help ～ out 「～(の仕事)を手助けする」  
◇ in a pinch 「困った時には；いざという時には」  
◇ it would be best if you … 「…するのが一番よいのだが」
- ℓ. 6 ◇ the kids would be just as happy with ～ 「子供たちは～でも同じように喜ぶだろう」

**解説**

Message 1

- (1) ジルはカレンにどうしてもらいたいか。  
d 日曜日に彼女と彼女の母親と出かける  
正解はℓ. 2を参照。
- (2) ジルの母親がこぼしていることは何だったか。  
b 最近カレンに会っていないということ  
正解はℓ. 2を参照。

Message 2

- (3) 月曜日の朝カレンは何をすると思われるか。  
a 仕事の面接に行く  
正解はℓ. 2, ℓ. 5を参照。
- (4) フェアフィールド氏の電話番号は何番か。  
757-1990  
正解はℓ. 6を参照。

Message 3

- (5) 地図を見てレストランの場所に一致する文字 (A, B, C, D あるいは E) を選べ。  
正解を得るのは、第2パラグラフを理解することにかかっている。大切なポイントは駅を出る時に正しい方向に行くこと。男性は駅から(湾に)直接つながっている道について説明している。右または左に曲がるようにとは言っていない。Go straight (直進する) は、方向が明確になっていなければ意味がない。  
次のポイントは正しいコンビニエンスストアを特定すること。短い行き止まりの道が真正面にあるということから正解はBである。

Message 4

- (6) なぜビルはカレンに2度目の電話をしてきたのか。  
c 妻がベビーシッターを見つけたかどうかわからなかったから  
正解はℓ. 1を参照。
- (7) 午後ビルの姉と連絡が取れる番号は何番か。  
879-0050  
正解はℓ. 5を参照。正しい番号は時間帯による。evening (夕方) は5時から始まる。

**【6】**

**解答**

「全訳」の下線部参照。

**全訳**

①記憶力養成講座というものが近頃大いにはやっていて、人は物事を記憶すればするほど、その分だけ幸せになるのは当然のことだと考えられているようだ。確かに、記憶によって得られる喜びは高く評価されなくてはならないが、私は物忘れということも人々を幸せにするのに役割を果たしていると確信している。②マクベス夫妻がダンカンを殺害したことを忘れ

ることができたのならば、とても多くの礼をはずんだことであろう。また、㉓自分の選挙での公約を忘れることを許されるのを切に願っている政治家も多いのだ。㉔この世で、最も不幸な人たちの中には、過去の負った傷を忘れることができない人たちもいるのだ。また、自分たちが他人に加えてしまった害を忘れられないがために、同じぐらい不幸を味わっている人たちもいるのである。

注

- ℓ. 1 ◇ vogue = the fashion or style current at a particular time  
◇ take for granted = ① fail to appreciate through over familiarity ② assume that (something) is true ここでは②の意味で用いられているが、①の意味は盲点。  
cf. They don't *take* drinking water *for granted* the way Japanese do.  
(日本人と異なり、彼らは飲み水のありがたみを忘れてはいない。)
- ℓ. 3 ◇ rate A C 「AをCと考える、みなす」
- ℓ. 4 ◇ would have given《仮定法過去完了》条件は to be able to forget ~。不定詞に条件・仮定の意味が潜んでいることがあり、本問はその例。  
cf. I *would* give anything to *know* where she is.  
(彼女の所在がわかれば何でも差し出すのですが。)
- ℓ. 5 ◇ many a ~ 「あまたの～、幾つも幾つもの～」《文語》単数扱いである点に注意。  
cf. *Many a* man repeats the same blunder. (同じ失敗を繰り返す人は多い。)
- ℓ. 6 ◇ pledge = *n.* an agreement; a solemn promise  
*v.* solemnly promise to do or give something
- ℓ. 7 ◇ inflict A on [upon] B 「A (傷・罰など) をB (人) に与える」 (= impose something unwelcome on B)
- ℓ. 8 ◇ do A (a) wrong = do (a) wrong to A 「Aに不当な仕打ちをする、虐待する」